

学 会 録 事

1. 2019 年度第 3 回持ち回り評議員会

第 3 回持ち回り評議員会 (2019 年 10 月 31 日～11 月 15 日) を開催し, 【議案 1】「日本藻類学会学生発表賞選考実施要領を別紙 (案) の通り決定する。」の可否を審議した。その結果, 国内評議員 16 名のうち 12 名からの回答があり, 回答者全員の賛成により承認された。

2. 2019 年度第 4 回持ち回り評議員会

第 4 回持ち回り評議員会 (2019 年 11 月 19 日～12 月 2 日) を開催し,

【議案 1】「日本藻類学会編集委員会内規の英文誌編集委員会内規を次の通り変更する。

(変更前)

1. 英文誌編集委員会は編集長 (Editor-In-Chief) 1 名, 副編集長 (Associate Editor) 若干名, 編集委員 (Members of Editorial Advisory Board) 若干名をもって構成する。

(変更後)

1. 英文誌編集委員会は編集長 (Editor-In-Chief) 1 または複数名, 副編集長 (Associate Editor) 若干名, 編集委員 (Members of Editorial Advisory Board) 若干名をもって構成する。」

【議案 2】「次期英文誌編集委員長をグレゴリ - N. ニシハラ 会員および瀧下 清貴 会員とすることを承認する。」

の可否を審議した。その結果, 国内評議員 16 名のうち 14 名からの回答があり, 回答者全員の賛成により承認された。

3. 2019 年度 5 回持ち回り評議員会

第 4 回持ち回り評議員会 (2019 年 12 月 23 日～2020 年 1 月 6 日) を開催し, 【議案 1】「大会における託児支援に関する申し合わせを別紙 (案) の通り決定する。」の可否を審議した。その結果, 国内評議員 16 名のうち 13 名からの回答があり, 回答者全員の賛成により承認された。

4. 2020 年度第 1 回持ち回り評議員会

第 1 回持ち回り評議員会 (2020 年 1 月 15 日～1 月 27 日) を開催し, 【議案 1】「日本藻類学会会則第 3 条第 4 号と日本藻類学会学会賞選考規程に基づき, 特別賞 (2020 年 3 月授与) を能登谷 正浩氏に授与する。」の可否を審議した。その結果, 国内評議員 16 名のうち 13 名からの回答があり, 回答者全員の賛成により承認された。

5. 水産・海洋科学研究連絡協議会

令和元年度第 2 回協議会が 2019 年 11 月 28 日に東京海洋大学品川キャンパスで開催された。鈴木秀和会員が出席。

<議題>

1. 令和元年度第 1 回水産・海洋科学研究連絡協議会議事録 (案) について: 資料に基づき説明があり, 承認した。2. 出席者の紹介: 出席の自己紹介をおこなった。3. 各学会の情報交換: 各学会の活動が紹介された。4. 日本学術会議主催公開シンポジウムについて: 資料に基づき今年度のシンポジウムについて今回のシンポジウムでポイントにしているのは育種である旨説明があり, 各学会へシンポジウムの周知と参加について協力要請があった。5. その他: (1) マスタープランについて (これまでの経緯及び今後の予定について説明があった), (2) 次の会議日程 (2020 年 5 月中旬から下旬ごろに開催予定), (3) その他

6. 日本分類学会連合

日本分類学会連合第 19 回総会が 2020 年 1 月 11 日 (土) 10:00～12:00 に国立科学博物館上野本館講堂で開催された。峯 一郎庶務幹事が出席。

<報告事項>

1. 活動報告: (2019 年度) 第 40 回役員会開催 (1 月 11 日), 第 18 回総会・シンポジウム開催 (1 月 12 日), 日本産生物種名チェックリスト一覧公開 (2 月 16 日), 日本生態学会第 66 回大会フォーラム U10 後援 (3 月 17 日), 生物科学学会連合第 19 回定例会議出席 (3 月 17 日), 生物科学学会連合としての重点的活動についてのアンケート (4 月 11 日), 【パブリックコメント】特定科学施設包括 (輸出・輸入) 承認取扱要領の制定案等に対する意見提出 (6 月 6 日), 第 41 回役員会開催 (6 月 24 日), ニュースレター発行 33 号 (6 月 30 日), 生物科学学会連合案内パンフレット 2018-2019 に当連合の紹介を掲載 (8 月中旬), 日本遺伝学会第 91 回大会ワークショップ WS5 「教育・学問・医療と遺伝学用語の課題～何を優先すべきか～」にて三中信宏氏が講演「進化学・体系学からみた variation と diversity の意味と訳語について」(9 月 11 日), 生物科学学会連合第 20 回定例会議および生物科学学会連合公開シンポジウム「魅力ある生物教育を考えるー生物離れ。何が問題なのかー」出席 (10 月 5 日), 生物科学学会連合「地球生物プロジェクト委員会」による『高校生「生きものつぶやきフォトコンテスト」』の広報 (10 月 13 日), 植物防疫法施行規則の改正案についてパブリックコメント周知 (10 月 24 日), 遺伝資源の研究開発と提供国措置の影響評価に関するアンケート周知へのご協力のお願 (11 月 14 日), ニュースレター発行 34 号および HP 掲載 (12 月 12 日), (2020 年度) 第 42 回役員会を開催 (1 月 10 日)。2. ニュースレター: 第 33 号, 第 34 号を発行。3. ホームページ: ホームページを

維持・アップデートし、ニュースレターおよびシンポジウム情報を公開した。4. データベース：「日本産生物種数調査」、「国内重要コレクション調査」、「日本産生物の種名チェックリスト」の公開ページの維持管理を行った。5. メーリングリスト：メーリングリスト TAXA の会員数は 2017 年 12 月 31 日時点で「1,116 名 (2019 年末から 9 名増)」。6. その他：生物科学連合報告、ABS 問題対策ワーキンググループ、植物防疫法施行規則の改正案について、国立自然史博物館設立ワーキンググループ。

<審議事項>

以下の 1～5 について承認された。1. 2019 年度決算：決算案 (分担金支払状況、決算案 (一般会計, 特別会計), 会計監査報告)。2. 2020 年度事業計画 (1) 第 19 回総会開催, (2) 第 19 回公開シンポジウムの開催 (2020 年 1 月 11 日 13:30～17:00「分類学者の研究フィールド最前線」(国立科学博物館 上野本館講堂)), (3) 第 20 回公開シンポジウムの開催 (2021 年 1 月 9 日 (土) 午後 (国立科学博物館) を予定)。 (4) ニュースレター：35 号 (2019 年 5 月発行予定), 36 号 (2019 年 11 月発行予定)。 (5) ホームページ：例年通りの予定。 (6) データベース：「日本産生物種数調査」と「国内重要コレクション調査」、現時点で公開されている種名チェックリスト等へのリンクを連合ホームページ上での公開ページの維持管理を行う。3.

2020 年度予算。一般会計の 2019 年度の分担金は 10,000 円、赤字縮小努力を継続する。4. 次期役員 2020-2021 年度。5. TAXA および加盟団体メーリングリストのサーバー移行。6. その他：国費留学生・特別プログラムに関して、日本分類学会連合規約「各学会 2 名について」(意見交換)。

7. 学会 HP による情報配信と記載内容の更新

2019 年 10 月～12 月に掲載・更新した内容は次の通りです：

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター室蘭臨海実験所公開臨海実習のお知らせ

「大型藻類培養技術ワークショップ」のご案内

「研究に関する男女共同参画・ダイバーシティの推進状況に関するアンケート調査 (研究者対象)」への協力をお願い

第 21 回マリンバイオテクノロジー学会大開催のお知らせ

ABS 関係アンケートのお願い (日本分類学会連合)

日本学術会議主催公開シンポジウム「わが国の水産養殖の未来像」のお知らせ

藻類談話会のお知らせ

第 28 回日本海藻協会シンポジウム「温暖化時代に国産海藻資源を確保できるか!？」のお知らせ

神戸大学内海域環境教育センター教員公募

訃報

本会会員 榎本 幸人氏は令和 2 年 1 月 4 日に逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。日本藻類学会